

乳がん検診受診状況

受診者数：9,253人

	39歳以下	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	計	%
乳房視触診	1,072	2,426	2,654	1,459	654	8,265	89.3%
マンモグラフィ	426	2,510	2,876	1,515	646	7,973	86.2%
トモシンセシス	4	32	34	13	8	91	1.0%
超音波	786	691	564	243	67	2,351	25.4%

乳がん検診の受診者数は9,253人、このうちマンモグラフィと超音波検査を同時に受けた方は1,071人(11.6%)でした。

マンモグラフィ検査（一次検査）

乳がん発見数

年齢	受診者数(%)	カテゴリー					年齢	受診者数	乳がん
		1	2	3	4	5			
29歳以下	13 (0.2)	13	0	0	0	0	29歳以下	184	0
30-34歳	67 (0.8)	56	7	4	0	0	30-34歳	240	0
35-39歳	346 (4.3)	280	57	9	0	0	35-39歳	715	1
40-44歳	1,075 (13.5)	897	128	49(1)	1	0	40-44歳	1,229	1
45-49歳	1,434 (18.0)	1,192(1)	180	61(3)	0	1(1)	45-49歳	1,565	5
50-54歳	1,619 (20.3)	1,337(2)	212	66	2(2)	2(2)	50-54歳	1,724	6
55-59歳	1,257 (15.8)	1,040	172	42(1)	3(2)	0	55-59歳	1,337	3
60-64歳	930 (11.7)	778(1)	119(1)	30(1)	2(1)	1(1)	60-64歳	988	5
65-69歳	585 (7.3)	505	64	14(2)	2(1)	0	65-69歳	606	3
70歳以上	646 (8.1)	559	74	13(1)	0	0	70歳以上	665	1
計	7,972 (100)	6,657(4)	1,013(1)	288(9)	10(6)	4(4)	計	9,253	25
%		83.5	12.7	3.6	0.1	0.05	%		0.27

赤字はがん発見数

マンモグラフィ検査の受診者数は7,972人、このうち要精検(カテゴリー3以上かつD判定)者数は133人(1.7%)でした。

マンモグラフィ検査による乳がん発見数は19人(0.24%)でした。両側乳がんの方が3人いました。トモシンセシスを行った人が91人いました。

カテゴリーとは、所見の悪性度を5段階で表現することで情報伝達を容易にしたものです。

カテゴリー1：異常なしカテゴリー

4：悪性の疑い

カテゴリー2：良性カテゴリー

5：悪性

カテゴリー3：良性、しかし悪性を否定できない

乳房視触診の所見

年齢	受診者数(%)	要精検者数(D判定)	乳房腫瘍	乳腺硬結	乳腺結節	リンパ節腫大	乳頭分泌	乳房術後	乳腺外腫瘍	乳汁漏出症
29歳以下	169 (2.0)	0	2	1	0	0	0	0	0	0
30-34歳	223 (2.7)	0	6	3	0	0	1	0	0	1
35-39歳	680 (8.2)	0	11(1)	3	4	0	0	0	0	6
40-44歳	1,067 (12.9)	2	19(1)	5	1	1	0	0	0	5
45-49歳	1,359 (16.4)	4	27(2)	14(1)	2	0	1	0	0	1
50-54歳	1,509 (18.3)	3	17(1)	5	2	2	2	1	0	0
55-59歳	1,145 (13.9)	2	7	1	1	2	1	0	1(1)	2
60-64歳	891 (10.8)	3	4	5	4(1)	0	1(1)	0	0	0
65-69歳	568 (6.9)	2	3(1)	1	0	0	0	0	0	0
70歳以上	654 (7.9)	1	2	1	0	0	0	0	0	0
計	8,265 (100)	17	98(6)	39(1)	14(1)	5	6(1)	1	1(1)	15
%		0.2	1.2	0.5	0.2	0.06	0.07	0.01	0.01	0.2

赤字はがん発見数

乳房視触診受診者は8,265人、このうち要精検(D判定)者数は17人(0.2%)でした。

要精検者(D判定)の内訳は乳房腫瘍7人、乳腺硬結4人、乳腺結節2人、乳頭分泌2人、乳頭腫瘍1人、乳汁漏出症1人でした。

乳房視触診による乳がん発見数は10人(0.12%)でした。

乳房超音波検査(一次検査)

年齢	受診者数(%)	要精検者数(D判定)	乳房腫瘍	線維腺腫	乳腺のう胞	乳管内腫瘍	乳管内乳頭種	構築の乱れ	葉状腫瘍	リンパ節腫大
29歳以下	181 (7.7)	1	0	21	36	0	1	0	0	0
30-34歳	183 (7.8)	2	1	17	29	0	0	0	1	1
35-39歳	422 (17.9)	3	1(1)	71	79	0	9	0	1	0
40-44歳	309 (13.1)	1	2(1)	36	91	0	4	0	0	3
45-49歳	382 (16.2)	7	10(3)	48	121	1	5	0	1	1
50-54歳	318 (13.5)	9	6(5)	40	74(1)	0	3	0	0	1
55-59歳	246 (10.5)	3	4(2)	18	42	0	2	1(1)	0	0
60-64歳	173 (7.4)	3	2(2)	10	29	1(1)	2	0	0	0
65-69歳	70 (3.0)	1	2(1)	3	9	0	2	0	0	0
70歳以上	67 (2.9)	0	0	4	9	0	1	0	0	0
計	2,351 (100)	30	28(15)	268	519(1)	2(1)	29	1(1)	3	6
%		1.3	1.2	11.4	22.1	0.09	1.2	0.4	0.1	0.3

赤字はがん発見数

乳房超音波検査受診者は2,351人、このうち要精検(D判定者数)は30人(1.3%)でした。

要精検者(D判定)の内訳は乳房腫瘍28人、乳管内乳頭腫2人、乳管内腫瘍2人、葉状腫瘍2人、構築の乱れ1人、線維腺腫1人、乳腺症1人、乳頭腫瘍1人、乳腺内低エコー域1人、乳房内リンパ節1人、のう胞内腫瘍1人でした。

乳房超音波検査による乳がん発見数は18人(0.77%)でした。